

# 百間川今谷遺跡 4

～旭川放水路（百間川）改修工事に伴う発掘調査ⅩⅧ～

本書は、百間川遺跡群の報告書としては18冊目にあたり、百間川今谷遺跡としては4冊目となる。

「弥生時代中期のガラス工房？」として注目を集めた掘立柱建物群の北端部が明らかとなったのに加え、新たに弥生時代後期の掘立柱建物群や、弥生時代前期と中期の水田跡が発見された。遺物では弧帯文を施した弥生土器や、弥生～古墳時代にかけての木製品などが特筆される。また、以前の調査成果と合わせ、弥生時代の水田と水路の関係や変遷を考察した。



弥生時代後期水田調査風景



弥生時代前期の水田



弥生時代中期の水田



井戸4出土遺物